

「よしとみこどもジョブキャンパス」で安全マップ作り ～イベントを楽しみながら小学生が地域安全マップを作成～

日本損害保険協会九州・沖縄支部(委員長:千葉 岳央 三井住友海上火災保険株式会社 常務執行役員)では、3月14日(土)に福岡県吉富町で開催された「第1回よしとみこどもジョブキャンパス」においてブースを出展し、小学生約50名やその保護者の方々と地域安全マップを作成しました。

本イベントは、期待される効果として「地域ぐるみでこどもの育成を支援する仕組みづくりの一助となる」ことなどを掲げ、吉富町青少年育成町民会議が主催、吉富町・吉富町教育委員会が共催して開催されました。

当日は、小学生が白地図やパソコンを使って通学路の危険な箇所等を楽しみながら確認し、マップに書き込む形式で、地域安全マップを作成しました。

マップを作成したこどもたちからは、「自転車や自動車が多い道では1列になって歩く」や「横断歩道では手を挙げて渡る」など今後の登下校等で注意したいことについて気づきの声がありました。

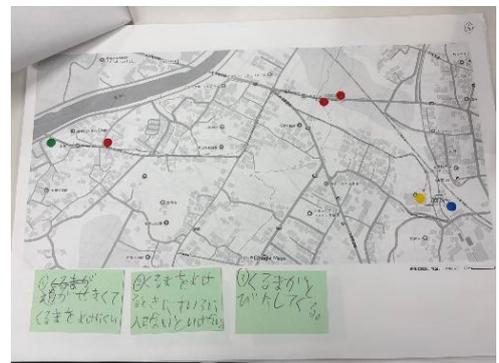
九州・沖縄支部では、教育委員会や関係機関とともに、こどもたちの地域活動を推進しながら、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



マップ作成の様子1



マップ作成の様子2



作成したマップ